

研 究 所 彙 報

—2008.1~2008.12—

編著書・論文など

〔安藤 勇所員〕

「中世期の四郷村の景観」『研究紀要』豊田市郷土史研究会、3月

『新修豊田市史（概要版）』豊田市教育委員会、12月

〔市野和夫所員〕

『川の自然誌 豊川のめぐみとダム』（愛知大学総合郷土研究所ブックレット16）あ
るむ、2月10日

〔遠藤正治所員〕

（論文）『『草木図説』の構造—植物用語の性格（上・中・下）—』『悠斎研究会だより』
No. 115・116・118、3月・5月・10月

（編書）『日本科学技術古典籍資料 薬物學
篇1（『遠西醫方名物考』原文篇1）』（近
世歴史資料集成 第V期 第10巻）科学書
院、8月31日

（共編）『伊藤圭介日記』第14集（圭介文書
研究会）名古屋市東山植物園、11月16日

〔小笠原久和所員〕

「蒲郡の原始古代」『図説・がまごおりの歴
史』蒲郡市教育委員会、3月31日

〔櫻村愛子所員〕

「新自由主義を精神分析する」『情況』2008
年1・2月号、1月

「脱制度化と他者の変容(1)」『文学論叢』137
号、2月

「フィンランドモデルを越えるために—『境
界地』／教師の欲望／ヴィゴツキーの『現
実界』—」『現代思想』3月号、3月

「『源氏物語』の精神分析学」『国文学解釈と
鑑賞』5月号、4月

「『象徴の貧困』と文化の使命—精神分析的
観点からステイグレールを読む—」『Les
Lettres francaises』28号、7月

「地域づくりというイデオロギー」『文学論
叢』138号、10月

「東海社会学会設立シンポジウム雑感」『東
海社会学会ニューズレター』第1号、8月

「ハリエク精神分析」『春秋』12月

「書評『ラカンはこう読め』」『週間読書人』
4月4日

「『Re』の時代 5 REVERSE」『朝日新聞』1
月9日

「『世間』かさに個人攻撃」『東京新聞』『中
日新聞』3月14日

〔加納 寛所員〕

「マングレーにおける雲南系華人墓」『愛知
大学総合郷土研究所紀要』53輯、3月20
日

「History, Thai Studies in Japan, 1996–2006: Re-
examination of the Image of the Thai Nation」
『Thai Studies in Japan, 1996–2006. (The
Japanese Society for Thai Studies)』9月

〔神谷 智所員〕

「三河地方における『村高家数人数馬数書上
帳』の性格について」『愛知大学総合郷土
研究所紀要』53輯、3月20日

「山田庄左衛門家の土地集積と地域・家」
『近世・近代の地主経営と社会文化環境』
名著出版、12月10日

（史料紹介）「三河国八名郡岡部藩半原陣屋

(2)

御用留帳(一)『愛大史学』第17号、3月24日

(報告記録)「Web上の大学史資料目録及び検索方法の現状と課題」『大学所蔵の歴史的公文書の評価・選別についての基礎的研究(課題番号1732094 平成17～19年度科学研究費補助金(基盤研究(B))研究成果報告書)』3月20日

(北野信彦所員)

「元興寺建造物に外観塗装された赤色顔料に関する調査」『元興寺文化財研究所 研究報告2007』元興寺文化財研究所、3月31日

「元興寺五重小塔の外観塗料に関する調査」『保存科学』47号、東京文化財研究所、3月31日

「桃山文化期における輸入漆塗料の流通と使用に関する調査」『保存科学』47号、東京文化財研究所、3月31日

特別展図録『博物館でみるぶんきょう食の文化展』(分担執筆)文京ふるさと歴史館、10月25日

「伝統的民家建造物の保存修復材料として外観塗装に使用するベンガラ顔料の製法と性状」『愛知大学総合郷土研究所紀要』53輯、3月20日

(沓掛俊夫所員)

「空海の自然観と地質・鉱山・錬金術」『地質学史懇話会会報』第31号、11月30日

(翻訳)「アグリコラ『地下の事物の起源と原因について』その10」『地質学史懇話会会報』第30号、5月30日

(翻訳)「アグリコラ『地下の事物の起源と原因について』その11」『地質学史懇話会会報』第31号、11月30日

(乗原将人研究員)

(単著)『山ノ奥遺跡発掘調査報告書』豊川市教育委員会、3月31日

(共著)『下手大屋敷遺跡発掘調査報告書』豊川市教育委員会、3月31日

(権田浩美研究員)

「展開する第四次元—平戸廉吉の現代性と再評価—」『日本近代文学』78集、5月15日

「丸山薫『鶴の葬式』の詩世界—メタモルフォーゼの詩学—」『四季派学会論集』14集、8月

(須川妙子所員)

「「はな橘」にみる明治期の菓子業界」『愛知大学総合郷土研究所紀要』53輯、3月20日

(高橋 賢研究員)

「福島藩に召抱えられた碧海郡小垣江村の瓦師」『三河地域史研究』第26号、12月12日

(高原 隆所員)

「鬼師の世界—黒地：丸市、(杉莊)、萩原製陶所(3)—」『文明21』8月

(武田圭太所員)

『ふるさとの誘因』学文社、3月31日

『ふるさとから発信する』あるむ、3月31日

「生涯キャリア発達初期の選択行動—“ふるさと”の心象と帰還願望—」『豊橋創造大学紀要』第12号、2月20日

「海外・帰国子女の生涯キャリア発達—予備報告23：在米日本人留学生のキャリア選択に関する認知(1)—」『文学論叢』第137輯、2月20日

「愛知県新城市民の“ふるさと”の心象と定住願望との関係」『愛知大学総合郷土研究所紀要』53輯、3月20日

「海外・帰国子女の生涯キャリア発達—予備報告24：在米日本人留学生のキャリア選択に関する認知(2)—」『文学論叢』第138輯、7月20日

(田崎哲郎所員)

「薩摩藩の学問についての若干の考察」『日本歴史』720号、5月1日

(史料紹介)「浅井常三から矢澤梅太郎宛書簡等」『愛知大学総合郷土研究所紀要』53輯、3月20日

(史料紹介)「天保九年の朱印改めについて」
『愛大史学』第17号、3月24日

(研究ノート)「吉田と京都」『東日新聞』1
月24・28・26日

(研究ノート)「木朶と如風」『東日新聞』2
月22日

(研究ノート)「浅井常三の矢澤梅太郎宛書
簡」『東日新聞』4月22日

(研究ノート)「薩摩藩と平田国学」『東日新
聞』5月21日

(研究ノート)「薩摩藩と在村蘭学」『東日新
聞』5月28日

(研究ノート)「旧家について」『自由の風』
13号、6月

(研究ノート)「江戸時代の奥三河の村起こ
し」『東日新聞』6月22・23・24日

(時評)「公文書館問題の現状」『東日新聞』
7月11日

(研究ノート)「三河の安積良斎門人」『東日
新聞』8月19日

(研究ノート)「吉田藩剣術の他流試合」『東
日新聞』9月18日

(研究ノート)「弘前時代の小久保彦十郎」
『東日新聞』11月4日

(研究ノート)「朱印改めについて」『東日新
聞』11月27日

〔橘 敏夫研究員〕

「東海道新居宿の宿場札」『静岡県地域史研
究 会報』第157号、3月5日

「中山道関ヶ原宿における宿・助郷誓詞」
『交通史研究』第66号、8月

〔塚本弥寿人研究員〕

『ひな人形一人形たちの移り変わり一』三好
町立歴史民俗資料館、1月26日

『みよしの人物—みよしを彩った人々—』三
好町立歴史民俗資料館、10月11日

〔長屋隆幸研究員〕

「田中藩の海防政策」『藤枝市史研究』9号、
3月28日

〔野田賢司研究員〕

「研究ノート：コンクリート再生砕石の利用
に伴う環境への配慮について」『2008年
水は生きている』矢作川環境技術研究会、
6月5日

〔藤喜一樹研究員〕

「過疎集落における地域開発への対応と生活
—外部アクターの存在と役割—」『ソシオ
ロジ』52巻3号 社会学研究会、2月
『環境問題と‘ムラ’の対応に関する研究』
博士論文(三重大学)12月

〔藤田佳久所員〕

(監修・共)『三河・尾張の川の流れと歴史
のあゆみ—豊川・矢作川・庄内川—』国土
交通省国土地理院、3月

(著書)『イギリスの再生と社会風土—フィ
ールドワークでイギリス世界をみる—』あ
るむ、7月

(論文)「日本企業の環境経営から世界環境
経営への展開—行政や民間企業活動の動向
に関連して—」『中国の経済問題』日本評
論社、3月

(論文)「明治10年代中期における愛知県宝
飯郡の地域像」『愛知大学総合郷土研究所
紀要』53輯、3月

(論文・共)「南信州遠山郷に「神様王国」
をつくるプランの実現」『年報・中部の経
済と社会』2007年度版愛知大学中部地方
産業研究所、3月

(論文)「東亜同文書院生の記録からみた20
世紀初期の満州における農地開発に関する
研究」『オープンリサーチセンター年報』
第2号、愛知大学東亜同文書院記念センタ
ー、3月

(論文)「東亜同文書院と中国研究」『オー
プンリサーチセンター年報』第2号、愛知大
学東亜同文書院記念センター、3月

(論文)「東亜同文書院のあゆみと愛知大学」
『オープンリサーチセンター年報』第2号、
愛知大学東亜同文書院記念センター、3月

(4)

(論文)「奥三河山間地域におけるいわゆる「入り混じり村」の形成とその機能」『年報・村落社会研究』43集、4月

(ノート)「太鼓と踊る祭り—盛岡のさんさ踊り—」『東愛知新聞』3月

(ノート)「北辺で始まった県境を越える地域づくり—八戸など三圏域連携懇談会—」『東愛知新聞』3月

(ノート)「企業がリードする青森のねぶた—観光化しすぎた夜祭り—」『東愛知新聞』3月

(ノート)「市民中心の祭りは芸術—弘前のねぶた祭り—」『東愛知新聞』4月

(ノート)「津軽人の風土—山田良政・純三郎兄弟に関係して—」『東愛知新聞』4月

(ノート)「本州北端の大畑は文化のターミナル—海を越えてつながる人々と文化—」『東愛知新聞』4月

(ノート)「いよいよオープン「神様王国」への期待」『信州日報』1月

(別所興一所員)

(資料解説)「第12章 地域に根ざす文化」『愛知県史 資料編19東三河』3月31日

(論文)「華山と長英の同志 鈴木春山」『洋学史研究』25号、4月25日

(評論)「沖縄からの出発」『愛知沖縄県人会連合会会報』37号、7月1日

(評論)「鈴木圭介先生から学ぶもの」『あいち歴史教育』12号、7月14日

(論文)「田原藩校 成章館」漢字文化振興会『藩校ニュース』2号、10月1日

(評論)「“希望の哲学”の構築を」京都フォーラム月刊紙『公共的良識人』205号、12月1日

(堀井令以知所員)

『お公家さんの日本語』グラフ社、8月6日

(堀江登志実所員)

『愛知県史 資料編19東三河』愛知県、3月31日

(松尾肇子所員)

「松平君山の詞」『愛知大学総合郷土研究所紀要』53輯、3月20日

(松下 智所員)

『伊那谷の柴茶』南信州新聞社、3月30日

(松村美奈研究員)

「井原西鶴「大晦日はあはぬ算用」について—教材化の再検討—」『一般教育論集』愛知大学一般教育研究室、9月

(山田邦明所員)

「戦国の活力」『全集日本の歴史』第8巻、小学館、7月30日

「15世紀の人々、その思考と行動」『日本史研究』546号、2月20日

(講演録)「室町と戦国」『駒沢史学』38号、5月30日

(和田明美所員)

「東三河の風土と古典文学—「高師」の自然とその表現—」『MIKAWA-NAVI』vol. 37、東三河懇話会、1月

「《新刊紹介》『語り継ぐ日本の文化』(沢井耐三・黒柳孝夫編)」『愛知大学三遠南信地域連携センターニュース』No. 8、2月

(片茂 永所員)

(共著)韓国宗教民俗研究会編『韓国の宗教と祖先祭祀』岩田書院、2月

(共著)韓国宗教民俗研究会編『宗教と絵画』(韓国)民俗苑、12月

学会・研究会報告および講演会など

(有蘭正一郎所員)

〔歴史地理学会〕「近代三河国庶民の日常食」5月17日、宮城大学

(安藤 勇所員)

〔豊田市芸術家協会記念講演会〕「文化財保護と住民活動」6月7日、豊田市美術館

「豊田地方の地場産業」10月9日、豊田東高校

〔豊田市高年大学歴史講座〕「豊田市域の市

場の歴史」10月17日、豊田産業文化センター

〔豊田市交流館記念講演会〕「飯田街道と古道の成立」12月7日、豊田市中金区民会館

〔市野和夫所員〕

〔地域の生物多様性（シンポジウム）〕「貝の浜福江湾集水域の自然保護」3月1日、豊橋市民センター

〔総合郷土研究所「里海」シンポジウム〕「湖・内湾の物質循環とモク」3月22・23日、愛知大学豊橋校舎

〔東海自治体学校環境分科会〕「設楽ダム問題について」5月25日、愛知県勤労会館

〔豊橋市民大学トラム総合講座 母なる海三河湾を学ぶ〕「豊川と三河湾の水のつながり」6月24日、豊橋市民センター

〔第20回 愛知サマーセミナー〕「森・川・海 私たちとのつながり」7月21日、椋山女学園大学

〔三河コープカレッジ〕「地球温暖化問題」10月17日・11月24日、豊川市勤労福祉会館

〔日本科学者会議 第17回総合学術研究集会 C4分科会〕「豊川流域圏の水資源開発と環境」11月23日、名古屋大学

〔遠藤正治所員〕

〔第26回岐阜県郷土資料研究会サロン〕「『本草図説』の語る自然と歴史」2月16日

〔実学資料研究会・洋学史学会合同研究大会〕「小野蘭山の本草学と洋学について」3月30日、明治大学駿河台キャンパス

〔大垣市制90周年大垣ルネサンス先賢展記念講演〕「『本草図説』の彩色原画の世界」4月26日、大垣市サイトピアセンター

〔名城公園フラワープラザ ナイトカフェ〕「シーボルトと伊藤圭介」8月22日、名城公園フラワープラザ

〔実学資料研究会9月例会〕「『泰西本草名疏』とショメール Pflanzenkunde」9月7

日
〔『伊藤圭介日記』第14集出版記念会〕「『泰西本草名疏』の植物学用語の原典」11月16日、名古屋市東山植物園

〔京都大学人間・環境学研究科学際教育研究部第1回国際研究交流会〕「小野蘭山学統における本草から植物学への転換過程」12月4日

〔洋学史学会2008年度年大会〕「『植学啓原』の一原典としてのショメール Pflanzenkunde」12月13日、西尾市立岩瀬文庫

〔小笠原久和所員〕

〔蒲郡市観光ボランティア研修講演会〕「蒲郡の名所旧跡」11月12日

〔櫻村愛子所員〕

〔中部産業研究所第7回「地域・産業・大学」公開研究発表会〕「地域づくりというイデオロギー」2月16日、愛知大学

〔Lacan in Context〕「日本のポストモダン社会におけるイマジナリーと症候」5月22～24日、台湾大学

〔G8対抗国際フォーラム〕「地下大学東京—秋葉原で起きたこと—」7月1日、明治大学

〔コミュニケーション学会インタビューセッション〕「コミュニケーション研究の可能性」7月6日、名古屋外国語大学

〔日本ラカン協会第6回ワークショップ「ラカンと日本の現在」〕「ポストモダン日本社会におけるイマジネールと症候」7月27日、東京大学駒場校舎

〔第81回日本社会学会大会〕11月24日、歴史・社会史・生活史(5)部会司会、東北大学〔東京大学現代社会学研究会主催新入生歓迎講演会〕「現代学生 of 精神分析—マクドナルド化する社会の中で—」4月18日、東京大学駒場校舎

〔名古屋市民大学連携講座〕「現代社会における文化と心理」5月31日、名古屋市女性会館

〔FM豊橋「アイダイ・ド・文学部の時間」
インタビュー、10月1日

〔加納 寛所員〕

〔The 10th International Conference on Thai
Studies〕「History, Thai Studies in Japan,
1996-2006: Re-examination of the Image of
the Thai Nation」1月9日、Thammasart
University, Bangkok, Thailand

〔豊橋市生涯学習市民大学国際理解講座〕
「タイのお守り最前線：チャトゥカームラ
ーマテープ信仰の展開」11月8日、愛知
大学

〔神谷 智所員〕

〔とよかわ市民大学専門講座「歴史探究コ
ース」〕「幕末と明治維新—近代はいつかは
じまるのか—」2月19日～3月18日（5
回）、豊川市勤労福祉会館

〔近世史研究会6月例会〕「北信濃随一の有
力百姓家の土地集積について—高井郡江部
村山田庄左衛門家の事例—」6月25日、
名古屋大学文学部

〔蒲郡市民教養講座〕「近世村落史料の面白
さ—三河の自治体誌（史）の資史料を読む
—」8月9日、蒲郡市民会館

〔北野信彦所員〕

〔文化財保存修復学会 第30回大会〕「明治
期修理における建築塗装の一方法」5月
17日、太宰府市中央公民館

〔日本文化財科学会 第25回大会〕「日本に
おける各種ベンガラ顔料の生産と使用」6
月15日、鹿児島国際大学

〔博物館でみる—ぶんきょう食の文化展—〕
「文京区の遺跡からみた近世の食文化」11
月30日、文京ふるさと歴史館

〔沓掛俊夫所員〕

〔地質学史懇話会例会〕「空海の自然観と地
質・鉱山」6月22日、北とぴあ（東京都
北区王子）

〔権田浩美研究員〕

〔平成19年度 新城市生涯学習市民講座〕

「三河の自然と文学—海と山、その彼方か
ら—」2月16日、新城市文化会館

〔日本近代文学会 2008年度秋季大会〕「富永
太郎とモダニズム—中原中也記念館・神奈
川近代文学館所蔵未刊行資料を中心に—」
10月25日、東北大学

〔佐藤泰子研究員〕

〔女性民俗学研究会〕「婚姻の話 第一章 家
を持つということ・第三章 女の身すぎ」
2月24日、世田谷ラプラス

〔須川妙子所員〕

〔三河コンヴェンションアカデミー〕「和菓
子文化と三河のかかわり」7月19日、新
城市鳳来地域間交流施設

〔鈴木源一郎研究員〕

〔NHK文化センター〕「『古事記』と神々」
10月4日・11月1日・12月6日、NHK文
化センター豊橋教室

〔武田圭太所員〕

〔名古屋市民大学連携講座「わたしたちのこ
ころと生活について考える」〕「生涯キャリ
ア発達—中高年の視点から—」5月24日、
名古屋市生涯学習推進センター

〔愛知淑徳大学現代社会学部2008年度フィ
ールド・スタディ・セミナー〕「日本企業
が求める人—キャリア発達初期の人材要件
—」8月7日、愛知淑徳大学

〔産業・組織心理学会第24回大会〕「生涯発
達初期の選択行動(5)—入社前の仕事の想像
と入社後の現実—」8月30日、上智大学

〔田崎哲郎所員〕

〔愛知大学中部地方産業研究所第7回地域・
産業・大学〕公開研究発表会「天保9年
の朱印改めについて」2月16日、愛知大
学豊橋校舎

〔豊田珍彦翁拓本展〕「近世の地域の人口を
探る」3月9日、豊橋市立中央図書館

〔洋学史学会 2008年度年大会〕「草莽の国
学と在村の蘭学」12月13日、西尾市立岩
瀬文庫

〔長屋隆幸研究員〕

〔織豊期研究会『織豊期研究』第10号刊行記念シンポジウム 織豊期の史料と権力〕
「戦功書上」の成立について」12月13日、名古屋大学
〔城郭談話会〕「十七世紀中期の城受け取りと大名の軍役への意識」7月12日、高槻市総合市民交流センター

〔平川雄一研究員〕

〔海・山・野トライアングル交流フォーラム〕「前芝・七郷一色・西馬草の戦後のくらしと流域圏づくり（コーディネーター）」
12月20日、愛知大学豊橋校舎

〔藤喜一樹研究員〕

〔社会文化学会〕「三重県桑名市嘉例川集落を取り巻く開発と環境保全の経緯について—小さなコミュニティの環境への対応—」
12月7日、東京外国語大学

〔藤田佳久所員〕

〔人文地理学会〕「南信州遠山郷に「神様王国」をつくる」11月9日、筑波大学
〔ため池シンポジウム〕「奈良盆地の地理的性格とため池」10月25日、奈良教育大学
〔経済地理学会シンポジウム〕「過疎山村地域における広域合併の成立・不成立」11月2日、中部大学
〔全国県境地域シンポジウム〕「県境地域の観光活性化—南信州遠山郷「神様王国」づくりの場合—」10月30日、南砺市福野文化創造センター
〔ポプラの森交流会〕「日本沙漠緑化実践協会のあゆみと沙漠サミット」12月20日、愛知大学車道校舎
〔東三河午さん交流会〕「東亜同文書院から愛知大学創立へのあゆみ」10月3日、愛知大学豊橋校舎
〔新疆ウイグル自治区地域研究会〕「タクラマカン砂漠の農業開発と兵团」2月
〔愛知大学東亜同文書院記念センター・福岡講演会〕「東亜同文書院のあゆみと中国大

旅行」11月23日、アクロス福岡

〔愛知大学東亜同文書院記念センター・弘前講演会〕「東亜同文書院から愛知大学へ」
7月26日、弘前駅前市民ホール
〔2008年度三遠南信コミュニティカレッジ「三遠南信「まつり」の魅力を考える」〕
「三遠南信地域のまつり」7月5日、愛知大学豊橋校舎
〔2008年度国際中国学研究センター（ICCS）国際シンポジウム「中国をめぐる開発と和諧社会」〕「開発に伴う環境変化と和諧社会—青海省の場合—」12月6日、愛知大学車道校舎
〔河川環境財団研究会〕「豊川の霞堤」8月22日、豊橋市
〔豊橋青年会議所・豊橋市議会議員公開討論会記念講演〕「豊橋の地域をどうみる」8月6日、愛知大学豊橋校舎
〔豊橋青年会議所、三河港ドイツ祭〕「三河港のあゆみと課題」10月24日、豊橋市
〔三遠南信を学ぶ会〕「南信濃遠山郷の和田地区に「神様王国」をつくる」1月20日、豊橋市
〔三遠南信地域連携センター講演〕「歴史街道ネットワークと飯田線」11月10日、愛知大学豊橋校舎
〔愛知大学中部地方産業研究所「地域・産業・大学」〕「南信州・遠山郷における『神様王国』の具体化」2月16日、愛知大学豊橋校舎
〔東三河水循環再生フォーラム〕「豊川下流域の霞堤を歩く」1月12日、豊橋市ほか
〔三遠南信地域を学ぶ会〕「つながる三遠南信地域の人々」（コーディネーター）2月2日、豊橋市
〔とよがわ流域大学〕「私たちが考える豊川流域圏づくり」（コメンテーター）2月16日、愛知大学豊橋校舎
〔東三河広域観光協会〕「東三河の手筒花火と広域的観光」（コメンテーター）2月5

(8)

日、豊橋商工会議所

〔愛知大学東亜同文書院記念センターシンポジウム〕「東亜同文会の東アジアにおける教育活動とその展開」(コメンテーター)

11月2日、愛知大学豊橋校舎

〔別所興一所員〕

〔法制史学会中部部会〕(研究報告)「渡辺崋山の政治思想—主に農政観について—」1月26日、名城大学

〔知立市郷土研究会〕(講演)「越前藩士橋本左内の学問と政治改革構想」2月12日、知立市中央公民館

〔らんぶの会〕(講演)「島津斉彬とその周辺—テレビドラマ『篤姫』の時代背景—」4月26日、豊橋市生活家庭館

〔愛知県史を語る会「江戸の大動脈—東三河—」(パネルディスカッション・コメンテーター) 愛知大学豊橋校舎記念会館、8月2日

〔歴史教育者協議会 第60回全国大会〕(研究発表)「江戸期～昭和期の思想史の再構成—史料解説を中心とした26人の思想家の追体験的学習—」8月3日、明治大学駿河台キャンパス

〔第86回公共哲学京都フォーラム〕(研究報告)「女性の体験に基づく儒教批判と経世済民の思想—只野真葛『独考』を中心として—」11月2日、神戸ポートピア・ホテル

〔洋学史学会2008年度年大会〕(研究報告)「渡辺崋山の西洋認識と経世論」12月13日、西尾市岩瀬文庫

〔堀江登志実所員〕

〔安城市歴史博物館土曜講座〕「譜代大名と三河」5月24日、6月28日、8月2日、8月23日、9月27日、安城市歴史博物館

〔岡崎学特別講座(岡崎大学懇話会)〕「矢作橋と岡崎」10月11日、岡崎市コミュニティサテライトオフィス

〔知立市郷土研究会〕「三河の寺社と徳川将

軍家」12月9日、パティオ池鯉鮒

〔山田邦明所員〕

〔静岡県地域史研究会〕「南北朝期の伊東氏について」1月26日

〔愛知大学後援会石川・福井支部総会記念講演会〕「地域から歴史を見る」7月12日・13日

〔放送大学連携公開面接授業〕「戦国時代の三河」11月15日

〔中世史研究会〕「開城の作法」11月28日

〔和田明美所員〕

〔岡崎市男女共同参画セミナーⅡ〕「一日本の文学を彩る「男と女」その3—『源氏物語』の女の生き方—「幸ひ人」と幸福感をめぐって—」3月、岡崎市働く婦人会館

〔愛知大学同窓会田原支部定期総会〕「『源氏物語』の女のなげき—「園原」(下伊那)の「あるにもあらず消ゆる帚木」をめぐって—」6月、華山会館

〔岡崎読書会〕「『源氏物語』千年の魅力—王朝貴族の価値観と美意識に基づく物語表現の独創性に迫る—」12月、岡崎連尺学区市民ホーム

現地調査

〔有蘭正一郎所員〕

〔韓国における帰化植物の自生状況調査〕10月29日～11月1日、韓国北部および南東部

〔安藤 勇所員〕

〔新修豊田市史近代編(行政)の跡地調査〕1月～12月、豊田市(稲武・下山・足助・旭地区)

〔豊田の民話現地調査〕10月～12月、豊田市(旧猿投地区)

〔市野和夫所員〕

〔植物・生態調査〕8月、ブータン

〔小笠原久和所員〕

〔竹谷城跡発掘調査〕1月16日～3月6日、

蒲郡市竹谷町

〔上ノ郷城跡第2次発掘調査〕4月16日～5月18日、蒲郡市神ノ郷町

〔加納 寛所員〕

〔東南アジア大陸部地方都市華人の地域間移動に関する実証的研究（科研）に関わる調査〕1月28日～2月10日、ラオス

〔東南アジア大陸部地方都市華人の地域間移動に関する実証的研究（科研）に関わる調査〕8月7日～25日、タイ、ラオス

〔神谷 智所員〕

〔幡豆町八番組文書調査〕3月4日～6日、5月3・6日、9月7日、幡豆町歴史民俗資料館

〔小布施町平松快家文書調査〕9月14・15日、小布施町役場

〔右近権左衛門家文書調査〕8月23日～25日、12月13日～15日、南越前町河野総合事務所

〔宮川家向山家文書調査〕3月25日～27日、12月23日～26日、南越前町河野小中学校

〔一色町所蔵文書調査〕11月9日、一色町学びの館

〔廻船文書調査〕12月20日～22日、日本福祉大学美浜キャンパス

〔沓掛俊夫所員〕

〔仰木深成岩体の地質調査〕4月13・14日、比叡山北方

〔仰木深成岩体の地質調査〕8月9日、比叡山北方

〔仰木深成岩体の地質調査〕11月23・24日、比叡山北方

〔栞原将人研究員〕

〔天井平遺跡の発掘調査〕07年12月17日～08年3月26日、豊川市東上町柿木平他

〔佐藤泰子研究員〕

〔戦前の女性の暮らしの聞き書き調査〕5月～7月、豊橋市二川町

〔鈴木源一郎研究員〕

〔『古事記』の神々を尋ねて〕1月12日、愛

知県尾張地方

〔『古事記』の神々を尋ねて〕10月14日～16日、島根県・鳥取県

〔高原 隆所員〕

〔藤浦鬼瓦の分布調査〕9月27日、碧南市、応仁寺・安城市、専超寺・碧南市、藤原鬼瓦

〔現代の鬼瓦—四人展—〕6月29日、奈良市奈良文化会館

〔日本の陶彫〕5月31日、瀬戸市

〔武田圭太所員〕

〔中山間地の生活に関する女性の意識調査〕6月7・8日、6月14・15日、北設楽郡東栄町振草

〔橘 敏夫研究員〕

〔東海道二川宿山本家文書調査〕4月12日、豊橋市二川宿本陣資料館

〔中山道赤坂宿現地調査〕8月16日、岐阜県大垣市赤坂町旧宿場一帯

〔長屋隆幸研究員〕

〔城郭石垣史料調査〕3月、高知県

〔野田賢司研究員〕

〔一色排水路の水質現況踏査〕5月31日、幡豆郡一色町地内

〔一色排水路の水質現況調査（夏季観測）〕7月19・20日、8月2・3日、幡豆郡一色町地内

〔東海（恵南）豪雨その後の住民意識調査・矢作川水質調査〕9月1日～4日、矢作川上流域（平谷村・根羽村・恵那市南部・豊田市地内）及び矢作川本川流域

〔干潟の自然と人のふれ合い活動に関する調査〕3月8日、5月8日、9月16日～28日、一色干潟、藤前干潟、豊川河口干潟

〔矢作川南東部の水質調査（矢環研第6回矢作川の現状把握活動）〕10月2・10日、矢作川支流（鳥川湧水群ほか）

〔豊川流域圏づくり実践活動に伴う環境保全と上下流交流に関する参加市民意識調査〕3月～12月、豊橋市・田原市・新城市地

(10)

内

〔平川雄一研究員〕

〔とよがわ流域大学・流域圏講座実践コース・フィールドワーク〕 1月19日、新城市・豊橋市

〔とよがわ流域大学・流域圏講座実践コース・フィールドワーク〕 1月20日、設楽町・新城市

〔秋葉街道歴史文化資源調査〕 6月7日、飯田市上久堅・上村

〔三遠南信広域観光・歴史文化資源調査〕 9月13日、浜松市天龍区・新城市長篠

〔豊川リバーウォーク準備委員会地域資源調査〕 9月20日、設楽町・新城市

〔環境保全・地域通貨調査〕 3月8日、5月17日、豊橋市前芝海岸

〔環境保全・地域通貨調査〕 7月27日、10月18日、新城市上平井

〔環境保全・地域通貨調査〕 11月16日、豊橋市船渡町

〔環境保全・地域通貨調査〕 12月21日、田原市伊良湖町

〔人と人が寄り添う集落づくり調査〕 9月12・18・25日、10月2・8日、豊橋市前芝町

〔藤喜一樹研究員〕

〔社会文化学会〕「三重県桑名市嘉例川集落を取り巻く開発と環境保全の経緯について—小さなコミュニティの環境への対応—」 12月7日、東京外国語大学

〔藤田佳久所員〕

〔中国調査〕 5月 内モンゴル、8月 青海省
〔国内調査〕 8月 秋田市、8月～9月 田原市

〔「神様王国」調査〕 1月～12月（月2～3日）遠山郷（飯田市）

〔東亜同文書院関係調査〕 3月 青森、6月・8月 東京、11月 福岡、1月 鳥取

〔別所興一所員〕

〔南京・上海方面の日中戦争遺跡の調査〕 3

月25日～30日

〔故小澤耕一氏（渡辺華山研究者）宅所蔵資料調査〕 6月5日、7月16日、9月12日、10月16日、11月27日

〔松下 智所員〕

〔伊那谷の茶に関する調査〕 7月24日、長野県飯田市中村長清寺抹茶試作

〔伊那谷の茶に関する調査〕 10月28日、長野県上伊那郡飯島町

〔伊那谷の茶に関する調査〕 11月13日、長野県下伊那郡阿智村、飯田市上川路

〔伊那谷の茶に関する調査〕 12月6日～7日、長野県下伊那郡下條村

〔森田実研究員〕

〔矢作川流域の水文調査〕 9月1日～4日、矢作川流域（豊田市・恵那市等）

〔和田明美所員〕

〔古代東三道「園原」と古典文学の「帯木」〕 5月1日、長野県下伊那郡阿智村

〔古代東三道神坂峠と「はゝき館」周辺〕 9月26日～9月28日、長野県下伊那郡阿智村

活動報告

共同研究三河湾 研究会

「第1回、「里海」を考えるⅠ・Ⅱ・Ⅲ」

【趣旨】 日本における沿岸海域（淡水湖、汽水湖、内湾、沿海）における人と海とのかかわりを、「里海（湖）」をキーワードに自然・歴史・文化から考える。

公開講演会「里海を考えるⅠ」

テーマ 「日本の沿岸海域における、人と海のかかわりを学ぶ」

日時 3月22日(土)

講師 印南敏秀（愛知大学） 主旨説明
「なぜモク（水草・海草・海藻）なのか」

講 師 柳哲雄（九州大学・沿海海洋学）
『『里海』とはなにか』

講 師 山口徹（元神奈川大学・漁業史）
『沿岸漁業の歴史と文化』

司 会 市野和夫（元愛知大学）

研究者集会「里海を考えるⅡ」

テーマ 「淡・汽水湖、内湾におけるモク
（水草・海草・海藻）の利用の歴史と文化、および物質循環」

日 時 3月23日(日) 午前

報告者

市野和夫（元愛知大学）

「湖・内湾の物質循環とモク（水草・海草・海）」

大村和男（静岡市教育委員会）

「浜名湖のモクの歴史と文化」

平塚純一（『里湖』著者）

「宍道湖・中海のモクの歴史と文化」

中藤容子（琵琶湖博物館学芸員）

「琵琶湖の生活世界とモク」

司 会 市野和夫（元愛知大学）

印南敏秀

総合討論「里海を考えるⅢ」

テーマ 「里海とは何か」

日 時 3月23日(日) 午後

報告者・関係者

総合討論司会 朝岡康二

（人間文化研究機構）

公開講演会

テーマ 「サッカーによる地域の青少年の育成と人づくり」

日 時 2008年11月15日(土)

講 師 鎌田晃司氏（静岡県サッカー協会
理事、フットサル委員長）

地域見学会

テーマ 「伊良湖の集落移転と村人の生活
—過去から現在へ—」

日 時 2008年10月12日(日)

見学地 伊良湖旧陸軍射場跡／菊施設園芸
農家・露地栽培農家／磯丸園地・
芭蕉句碑など見学、郷土食の試食
と伊良湖の農家の皆さんとの交流

刊 行 物

『愛知大学総合郷土研究所紀要』53輯
研究叢書21 『ふるさとの誘因』

武田圭太 著

愛知大学総合郷土研究所ブックレット16
『川の自然誌 豊川のめぐみとダム』

市野和夫 著

シンポジウム報告書『ふるさとから発信する』

資料叢書『豊橋市浄慈院日別雑記Ⅱ』

渡辺和敏 監修